

特殊報

奈病防第9 - 1号

平成21年1月22日

関係機関長 殿
病虫害防除員 殿
調査員・防除員 殿
農業資材販売等関係者 殿

奈良県病虫害防除所長

平成20年度病虫害発生予察特殊報 第1号の送付について

このことについて、以下の通り発表しましたので送付します。

1. 病虫害名：トマト黄化葉巻病

2. 発生物種：トマト、ミニトマト

3. 病原ウイルス：トマト黄化葉巻ウイルス

Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV)

4. 発生確認の経過

平成20年11月に平群町の抑制栽培のトマトにおいて、頂葉の黄化や葉縁部の退緑症状が発生した。また同年12月には大和郡山市の抑制栽培のミニトマトにおいて、頂葉及び葉脈間の黄化やわき芽の叢生症状が発生した。いずれの施設においてもタバココナジラミが発生していた。独立行政法人九州沖縄農業研究センターよりポジコンの提供を受け、PCR法及び抗血清を用いたTBIA法により検定した結果、いずれもTYLCVが検出され、本県では未確認のトマト黄化葉巻病であることが判明した。本病は平成8年に愛知県、静岡県及び長崎県で初めて確認され、これまで西日本及び関東を中心に発生が拡大し、ミニトマトを含めて34都府県で発生が確認されている。

5. 病徴及び被害

トマトでの病徴は、最初上位葉が黄化して葉巻症状を呈し、その後、症状が進むと葉は表側に巻き、葉脈間も黄化し、縮葉する。わき芽等の頂葉には叢生症状が認められる。育苗期や定植後の生育初期に感染すると被害が大きい。また、トマトでは発病前に着果した果実は発育するが、発病後では開花しても不稔となる。ミニトマトでは被害の程度が軽い傾向にある。

6. 病原ウイルスの諸性質

(1) 伝搬

タバココナジラミ類のみが媒介する。幼虫、成虫ともに本ウイルスを獲得でき、約24時間の吸汁で伝搬能力を持つようになる。一度ウイルスを保毒すると終生伝搬能力を保持する（永続伝搬）。現在国内に分布するタバココナジラミ類のバイオタイプとTYLCVの組み合わせでは、経卵伝染はしない。また、土壌伝染および種子伝染はせず、接ぎ木や汁液接種

による伝搬は可能であるが、接触伝染の可能性は低い。

(2) 宿主植物

わが国で自然発生が確認されているのは、トマト、ミニトマト及びトルコギキョウの3種である。その他ナス科、キク科、マメ科など雑草も含めて7科17種以上の植物で感染が確認されているが、感染しても無病徴である場合が多い。また、周辺雑草等からのタバココナジラミ類によるトマト等へのウイルス伝搬は確認されていない。

7. 防除対策および注意点

(1) 本ウイルスを媒介するタバココナジラミ類の防除を徹底する必要がある。タバココナジラミ類は多くの殺虫剤に抵抗性を発達させており、薬剤のみによる防除は困難である。そのため、物理的、耕種的防除手段を積極的に導入する。

(2) タバココナジラミ類の侵入・分散の防止対策として、施設の出入り口やハウスサイドなどには防虫ネット(0.4mm目未満)を張る。

(3) 育苗中も発生に注意し、防虫ネット被覆や薬剤による防除を徹底する。特に、10月までの高温期に育苗する作型では、ウイルスを保毒したタバココナジラミ類の侵入による被害が大きい。また、購入苗の場合には、タバココナジラミ類が寄生していないか十分注意する。

(4) 育苗中も含めて施設では、黄色粘着トラップを設置し、コナジラミ類の発生状況をモニタリングする。トラップにコナジラミ類が誘殺された場合は、葉裏を丁寧に観察し、種類を確認する。

(5) 発病株は、出来る限り早急に抜き取り、埋没等により処分する。その際、わき芽の処分も含めて圃場周辺等に野良生え化しないように注意する。野良生えや放任の自家菜園等のトマトやミニトマトは、TYLCVの温床となるので注意する。

(6) 施設でタバココナジラミ類又は黄化葉巻病が発生した場合、栽培終了後にトマトの断根と除草を行い、施設を閉め切り40 以上で3日以上蒸し込み処理を行う。その際、施設周辺の雑草で虫が残存する恐れがあるので処理前には除草に努める。

(7) タバココナジラミのバイオタイプBとバイオタイプQは多くの殺虫剤に感受性が低下しており、「コナジラミ類」もしくは「タバココナジラミ類」に登録のある殺虫剤でも効果の低い場合がある。当所が実施した感受性検定では、サンマイトフロアブルは成虫、幼虫ともに効果が高く、成虫のみに効果が高いのはアルバリン・スタークル顆粒水溶剤、ベストガード水溶剤、若齢幼虫のみに効果が高いのはハチハチ乳剤、*アプロードエースフロアブル、*クリアザールフロアブル、コロマイト乳剤である。また、定植時のアルバリン・スタークル粒剤処理は予防効果が高く、3週間程度の残効が期待できる(注：*印の2薬剤は、ミニトマトには適用がないので使用しないこと)。